

人文学部

文化学科：デジタル・ヒューマニティーズなどの新しい手法にも対応可能な人材を育てる。

法律経済学科：統計学を中心に学び、データを社会科学（法学・政治学・経済学・経営学）のデータを適切に扱い活用することができる。

教育学部

学校現場で得られる多様なデータの集計・分析・可視化を通して教育の改善に役立てることができる。

医学部

医療の現場における情報倫理，データリテラシー，統計分析，情報機器の利活用を扱い，医療従事者として必要なデータサイエンス及び統計学的方法の意義と知識・技術を理解する。

工学部

プログラミングを中心にデータサイエンス実装のための基礎を習得する。

生物資源学部

生物資源に関連するデータを活用しながら，統計解析の手法やデータの可視化技術を学ぶとともに，データをより高度に取り扱うスキルを身に付ける機会を提供する。

各自の専門知識をベースに、文理を問わず「課題を整理・判断する」「情報科学系の知恵を使う」「実装・運用する」ための3つの総合的な知識が必要なことを気づいてもらう。